

消防団サポートプロジェクト始まる

市と市消防団では、地域の皆さんが消防団員を応援できる制度「つなげたい地域の絆・消防団サポートプロジェクト」を7月1日から始めました。市消防団の現状とプロジェクトの概要についてお知らせします。

地域防災力強化に 消防団員数減少の壁

東日本大震災などの教訓を受けて地域防災体制の充実強化が求められています。その一翼を担う消防団員については、少子高齢化の進展や就業構造の変化などから、人員を確保することが年々難しくなっています。

現在、市の消防団員数は年々減少し、本年度は条約定数1090人のところ、実団員数は956人と134人が不足している状況です。

国でも昨年、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を制定しました。

法律では、消防団を将来にわたる地域防災力の中核として欠くことのできない存在として位置づけ、団員の加入促進に地域や職場の協力が欠かせないこと。さらに消防団の活動と地域における防災体制の充実を強化するよう掲げています。

地域の協力で団員確保につな げ、地域防災力強化

市と市消防団では、平成19年に始まった「消防団協力事業所」制度に加えて、団員確保や活動しやすい環境づくりに向け団内に「団員確保検討委員会」を設置。委員の若手団員の意見を取

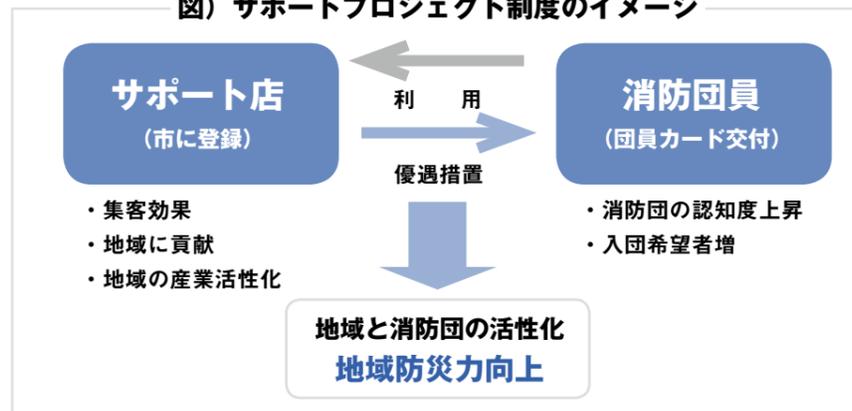
り入れながら「つなげたい地域の絆・消防団サポートプロジェクト」を制度化しました。

この制度は、市に登録した事業所が、消防団員に対して、一定のサービス等の優遇措置を提供することで、団員確保などにつなげ、地域防災力の強化を図る取り組みです。また、登録した事業所にとっても地域貢献や地域経済の活性化などのメリットがあります。(下図参照)

手続き等詳細は市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

岡堀金支所内危機管理課
TEL 72・6769 FAX 72・6739

図) サポートプロジェクト制度のイメージ



団員カードを提示すると消防団員がサポート店で優遇サービスを受けることができます

サポート店登録第1号 株式会社王滝に表示証を交付

サポート店登録第1号となった株式会社王滝(永瀬完治代表取締役社長・松本市)に6月30日、本庁舎で宮澤市長から表示証が手渡されました。王滝では市内で飲食店を展開しており、永瀬社長は「お互いに助け合う立場、制度を活用し、地域が元気になっていけばうれしい」と話しました。



握手をする永瀬社長と寺畑団長



市消防団長 寺畑佳司さん
(穂高有明)

家族や地域の支えに感謝し、迅速に災害対応できる消防団に 私たち市消防団では、災害のない「安全で安心な明るいまちづくり」のために活動を行っています。平素の予防広報活動、各種訓練、研修を通じ、団員相互間のコミュニケーションを図り、万一の災害活動に迅速に行動できるように、組織力を高め一体感のある団を目指しています。

団員が活動を続けていくには、家族の支えが大切です。団員やその家族が少しでも暮らしやすい環境づくりのため、松本市の事例を参考に、今回、地域の企業の皆さんにご協力いただき、消防団サポートプロジェクトを始められました。制度を通じ、団員確保や地域の絆づくり、活性化にもつながってほしいと願っています。

また、地域に団員や団員経験者を増やしていくことが地域防災力の強化につながっていきます。18歳以上の人で入団を希望する人がいましたら、各分団でも勧誘活動を行っていますので、各分団または危機管理課へご連絡ください。

地域で応援消防団！ 協力事業所・サポート店を募集します

消防団協力事業所

市では、平成19年度から地域の防災活動に貢献している事業所を認定しています。(7月1日現在で52事業所) 認定事業所には表示証が交付され、県の法人事業税・個人事業税の減免措置などの優遇制度が受けられます。

主な認定要件

- ① 従業員の3%以上が消防団員として入団し、従業員の消防団活動を積極的に配慮している
- ② 災害発生時に消防団に資材や機材などを提供できる



消防団協力事業所表示証

つなげたい地域の絆

消防団サポートプロジェクト・サポート店

地域の安全安心のために活動する消防団員を応援する「消防団サポートプロジェクト」サポート店を募集します。

このプロジェクトは、サポート店の協力により、消防団員とその家族がサポート店を利用する際に割引など独自の特典が受けられる制度です。登録すると表示証が交付され、店舗に表示することができます。(サービスにかかる市からの費用の補てんはありません)



サポート店表示証